



## ■部品セット一覧

### ■本体部品セット

部品名称	把手	把手取付けねじ トラス小ねじ M4×35	丁番カップ (AMB以外)	丁番カップ(ねじ止め) (AMB専用)
呼称				
0418	1	2	3	
0718 0420-0720	1	2	4	

### ■枠部品セット

部品名称	皿小ねじ M4×50 (枠組立て用)	皿タッピンねじφ4×50 頭部シート色塗装 (上枠躯体取付け用)	ナベタッピン ねじφ4×40 (枠固定金具取付け用)	穴かくし キャップ	丁番座	開き戸ダンパー	開き戸ダンパー用 スペーサー	トラスタッピン ねじφ4×35 (開き戸ダンパー取付け用)
呼称								
	三方枠 四方枠							
0418-0420	4 8	※6	6	3	3(0420は4)	1	2	2
0718-0720	4 8	※7	6	3	4	2	4	4

※予備用4本含む

### ■下枠部品セット

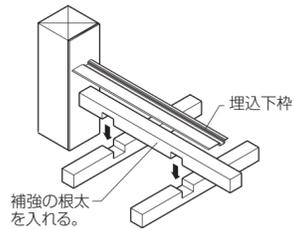
下枠種類	トラスタッピンねじ φ4×25 (薄下枠組立て用)	皿タッピンねじ φ3.5×20 (枠取付け用)	縦枠下部ピース (R/L)	皿タッピンねじ 1種φ4×20 (縦枠下部ピース 取付け用)
つば付き薄下枠	4	-	-	-
埋込下枠	-	3	2(R/L各1)	2

※戸当り・戸当り取付けねじは使用しません。

## ■床の張り方

### 1 埋込下枠下地の確認

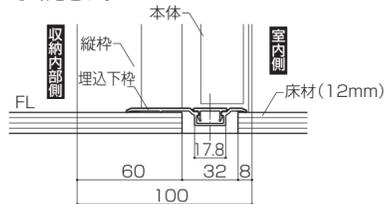
①枠材は捨て張り合板の上に施工するか、根太張り工法の場合は右図のように根太を入れて補強してから施工してください。下枠の破損や本体開閉不具合の原因となります。



### 2 床張り位置(床の張込み)

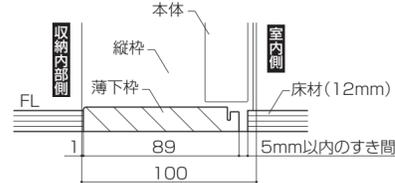
#### 【埋込下枠を使用する場合】

●下図の位置に32mm(最小開口25mm)あけて床材を張ってください。



#### 【つば付き薄下枠を使用する場合】

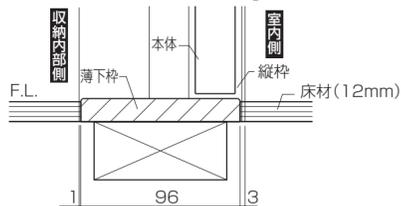
●枠の取付け後、下図のように床材を張ってください。



### お願い

※床材は必ず図の位置に張込んでください。床材の開口寸法が大きすぎたり狭すぎると、床のすき間が見えたり埋込下枠が入りにくい原因となります。

#### 【つばなし薄下枠を使用する場合】



### お願い

※床材と薄下枠のすき間は5mm以内にしてください。ただし、キャスターや車いすなどの荷重がかかる場合は、すき間をあけないでください。

## 5 開き戸ダンパーの調整

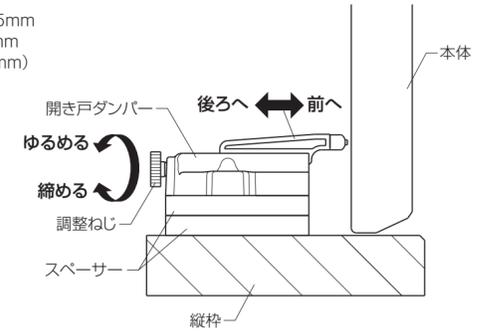
※開き戸ダンパーの調整は、本体が閉まりきらない場合に実施してください。(閉まりきらない場合、ダンパーを後へ調整します。)

●開き戸ダンパー後部の調整ねじを手でまわし、調整してください。  
※調整ねじを締めると前へ、ゆるめると後へ動きます。

### お願い

※開き戸ダンパーを前に移動しすぎると、本体が閉まりきらなくなることがありますのでご注意ください。  
※調整ねじは必ず手でまわしてください。又、ゆるめる方向に範囲をこえて、無理に調整ねじをまわさないでください。調整ねじが破損するおそれがあります。

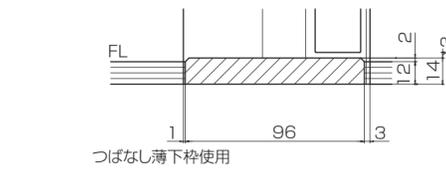
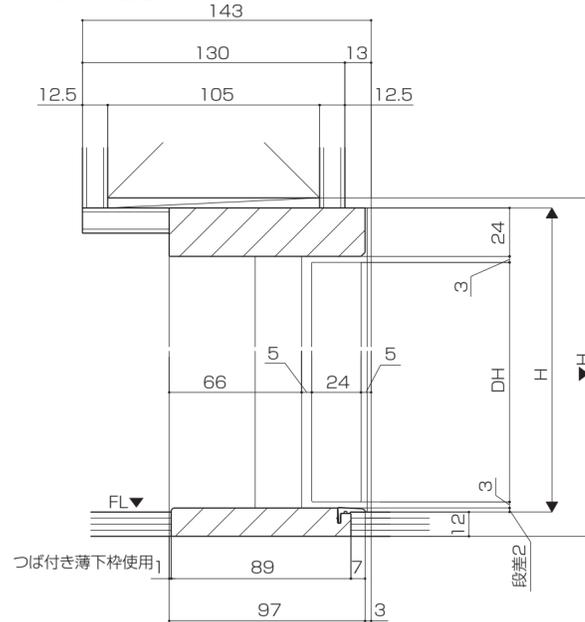
●調整範囲  
前方向1.5mm  
後方向2mm  
(合計3.5mm)



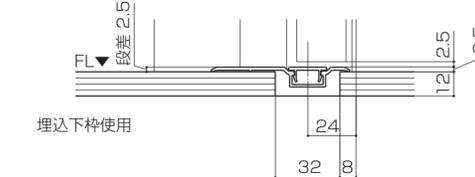
## ■納まり図

### ■クローゼット開き戸ユニット(片開き) ノンケーシング

#### ●縦断面図



つばなし薄下枠使用



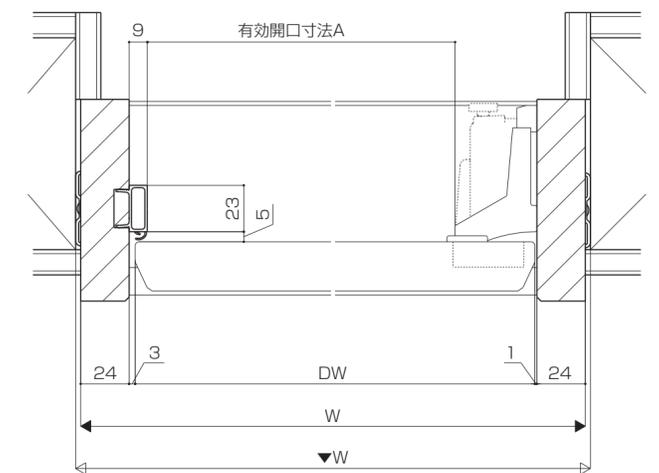
埋込下枠使用

W呼称(枠外寸法)	A寸法
W04(437.5)	339.5
W07(780)	682.5

#### ■片開き戸

基本寸法(mm)	W呼称	04	07
W(DW)		437.5(385.5)	780(728)
H呼称		18	20
H(DH)		1823(1791)	2023(1991)

#### ●横断面図



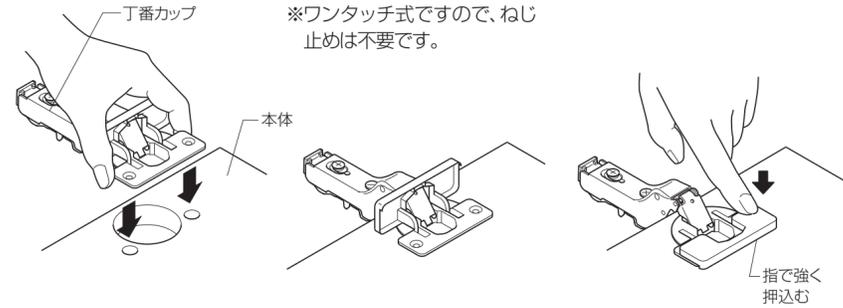
### 3 本体の吊込み

#### 【AMB デザイン以外の場合】

①本体に丁番カップを取付けます。

丁番カップのカバーを 90°に開いて、本体の丁番カップ取付け穴に丁番カップを差込んでください。  
※ワンタッチ式ですので、ねじ止めは不要です。

本体と丁番カップにすき間がないことを確認したら「パチッ」というまで強く押し込んでください。

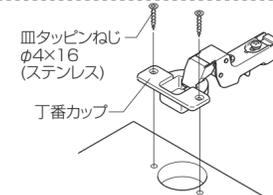


#### 【AMB デザインの場合】

①丁番を、同梱のねじで本体に取付けます。  
※ねじが曲がらないように、必ず手回して取付けてください。ねじが曲がると、本体が固定できなくなりますので、ご注意ください。

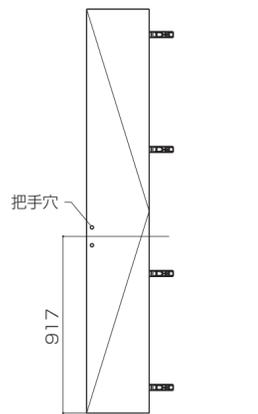
#### ▲ 注意

●丁番カップは本体に指定のねじでガタツキがないように固定してください。ねじの締め忘れ・ゆるみなどは本体の落下の原因となります。



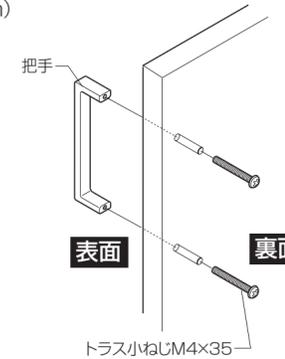
②本体の左右勝手の確認

●本体の下端より上下把手穴中心までの寸法が 917mm になります。(H09は 756mm)



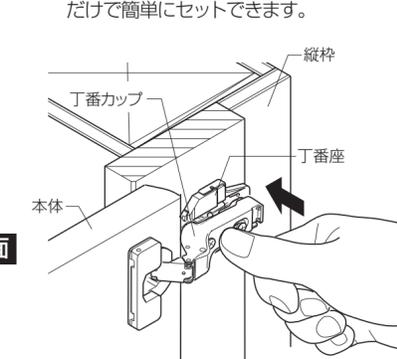
③把手の取付け

※把手セットは本体に同梱されています。

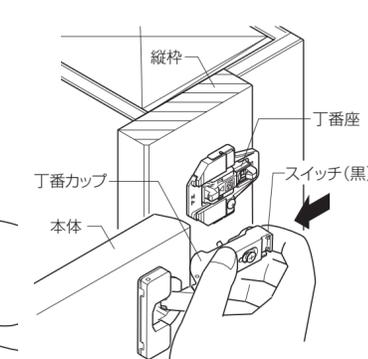


④本体の吊込み条件

●本体の丁番カップを縦枠の丁番座にセットし、上から押込むだけで簡単にセットできます。



●取外す場合は、先端のスイッチ(黒色)を押込むと外れます。



#### ▲ 注意

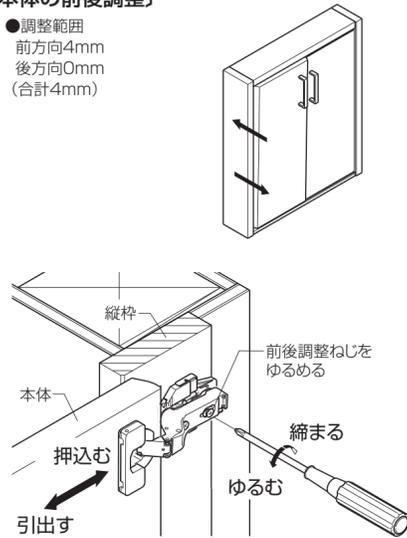
●本体の吊込みを行う場合は、本体の丁番カップが縦枠の丁番座に「カチャッ」と音がするまではめ込んでください。本体の落下の原因となります。

※ 0418(3 枚吊り)、0420,0718,0720 (4 枚吊り)の場合、最初に中間の丁番を取付けてから、端部の丁番を取付けてください。  
※本体を支えている手を離す場合は、必ず丁番を 2 個以上取付けてからにしてください。

### 4 本体の建付け調整

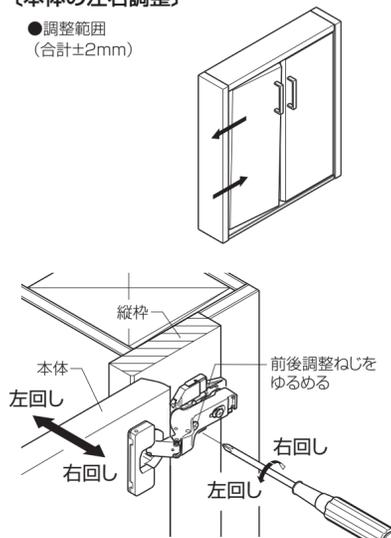
#### 【本体の前後調整】

●調整範囲  
前方向4mm  
後方向0mm  
(合計4mm)



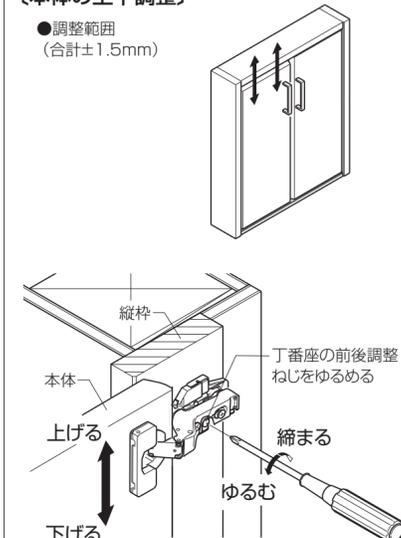
#### 【本体の左右調整】

●調整範囲  
(合計±2mm)



#### 【本体の上下調整】

●調整範囲  
(合計±1.5mm)

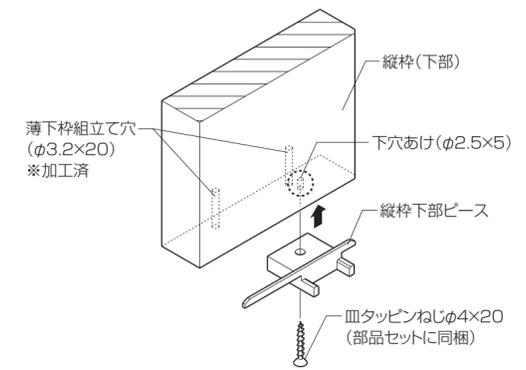


### 取付け詳細

#### 1 枠の組立て

##### 【埋込下枠を使用する場合】

●縦枠に縦枠下部ピースをねじ(皿タップインねじφ4×20)で固定します。縦枠に下穴(φ2.5×5)をあけるときは、取付け説明書に載せてある型紙を使用して位置出しをするとう簡単にあげることができます。  
※すでに加工されている薄下枠組立て穴(φ3.2×20)とは異なりますので、ご注意ください。



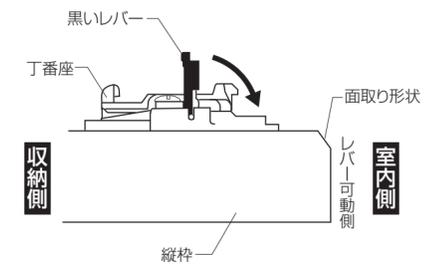
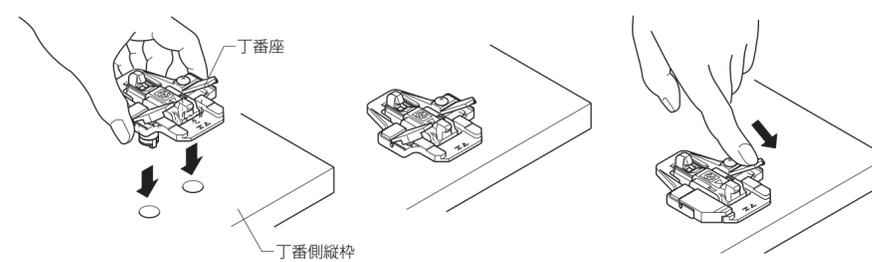
①丁番側縦枠に丁番座を取付けます。

縦枠に丁番座を差込みます。

丁番座と縦枠の間にすき間がないことを確認してください。

黒いレバーをおろして丁番座を固定します。

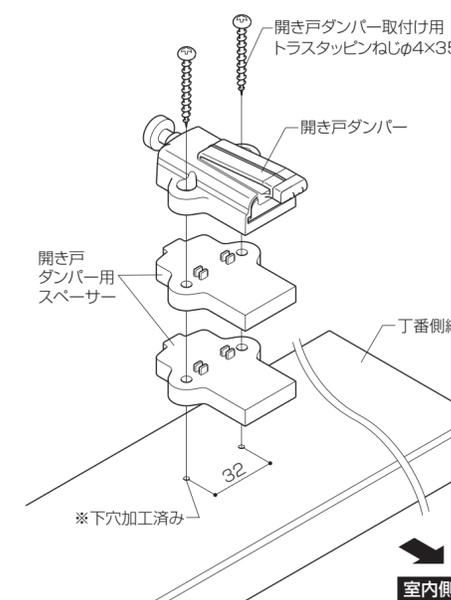
※丁番座の向きは下図を参照し間違いないようにしてください。



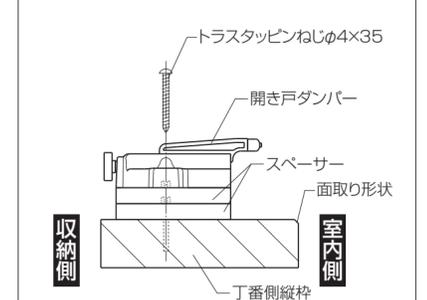
②丁番側縦枠に開き戸ダンパーおよびスペーサーを取付けます。(※下穴加工済み)  
開き戸ダンパー 1 個につきスペーサー 2 個を重ねて、同梱のねじ(トラスタップインねじφ4×35)で縦枠に固定します。

#### お願い

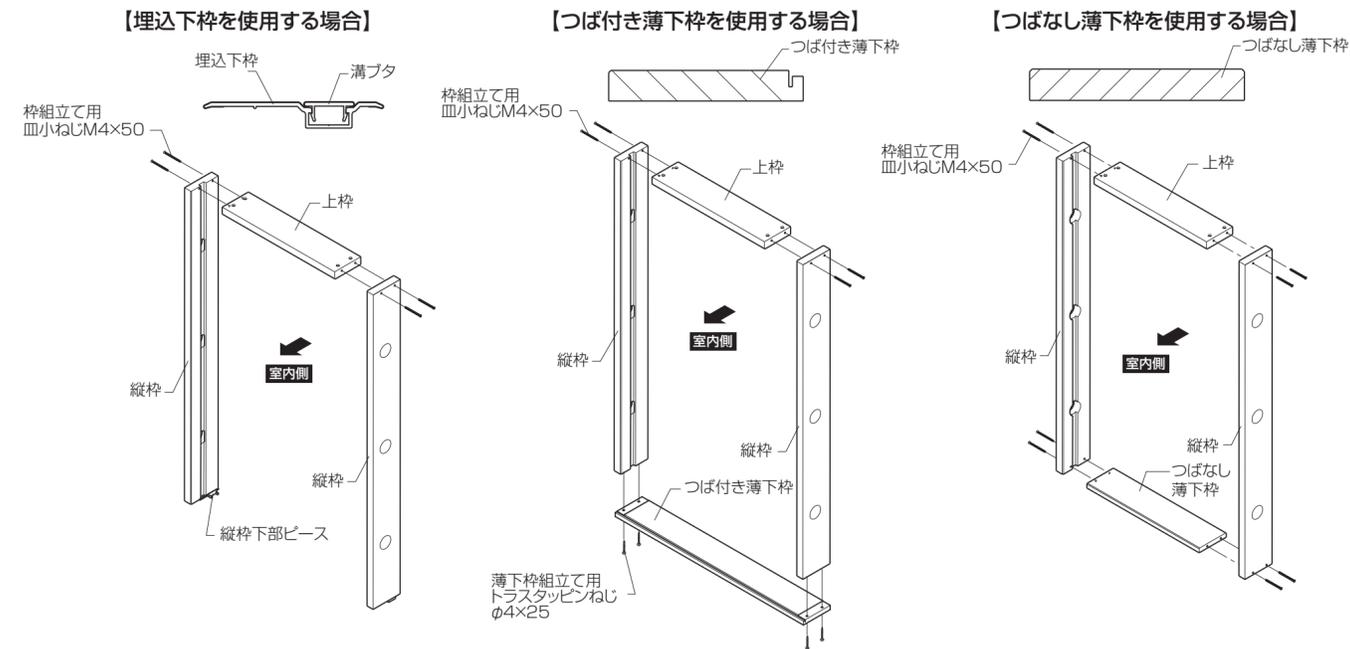
※開き戸ダンパーの取付けには、電動ドライバーを使用しないでください。ダンパーが変形し、作動不良を起こす可能性があります。



※開き戸ダンパーおよびスペーサーの向きは、下図を参照し間違いないようにしてください。

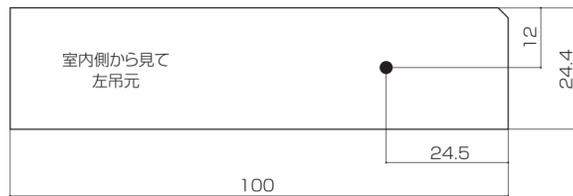
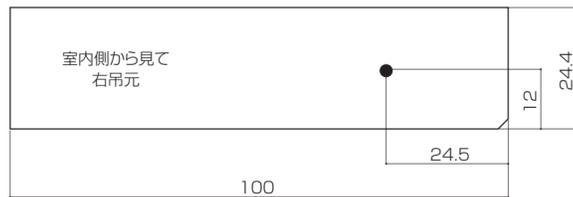


③右図のように各部材を組合せ、同梱のねじで固定します。

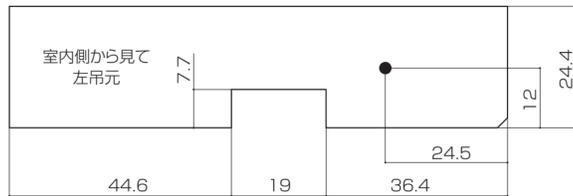
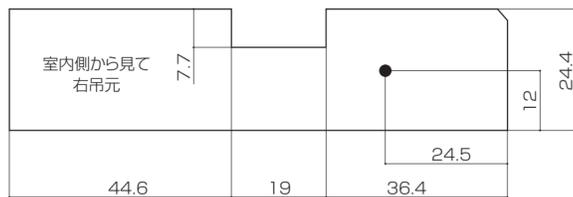


■縦枠下部ピース取付け穴加工用型紙

●丁番側縦枠(下穴φ2.5×5)

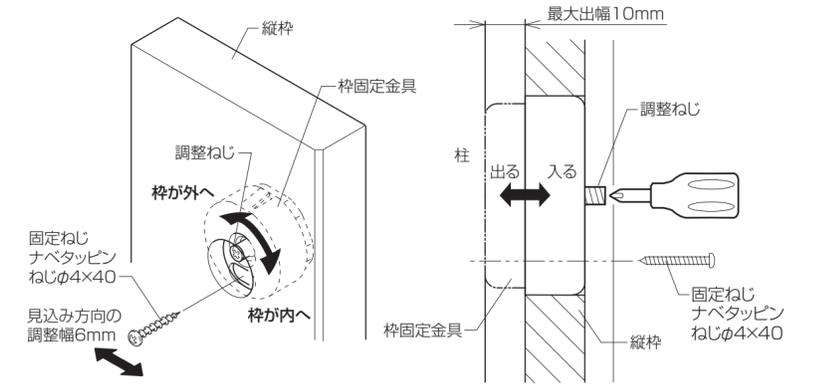


●戸当たり部材取付け側縦枠(下穴φ2.5×5)



■2枠の取付け(つば付き・つばなし薄下枠共通)

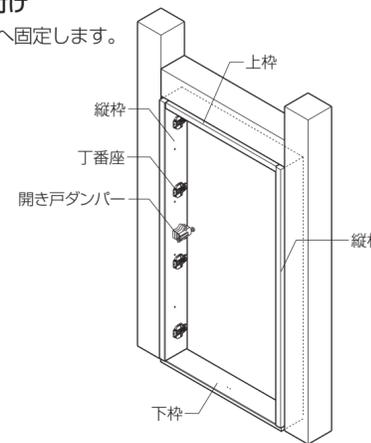
- ①縦枠に取付けられている枠固定金具(縦枠に3個取付け)の調整ねじを時計回りに回し、金具を均等に出してください。
  - ②枠の垂直を確認してください。
  - ③固定ねじ(ナベタッピンねじφ4×40)を枠固定金具の長穴中央部分より締め付けてください。
  - ④枠の奥行方向の倒れを確認してください。倒れている場合は、固定ねじをゆるめ、枠を動かします。(奥行方向の調整幅は6mmです。)調整後、ねじを固定してください。
  - ⑤枠の垂直を確認してから、枠固定金具の取付いている部分の開口寸法が均等になるように調整してください。
  - ⑥再度、枠の垂直を確認してください。
  - ⑦上枠は、かい木を入れて水平になるように調整した後、固定ねじ(皿タッピンねじφ4×50)で締付けてください。
- ※縦枠の固定箇所を増やしたい場合は、予備の上枠取付け用ねじ(皿タッピンねじφ4×50)で固定してください。



お願い  
 ※枠固定金具の調整には電動ドライバーを使用しないでください。  
 ※必ず内装ボードは縦枠に突きあてて施工してください。突きあてができない場合は必ずかい木を入れてください。  
 ※必ず枠の垂直を確認してください。縦枠がタイコ状(又はツツミ状)で取付けられていると、開き戸ダンパーと本体が開閉時に干渉するおそれがあります。

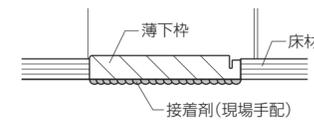
■下枠の取付け

●下枠を躯体へ固定します。

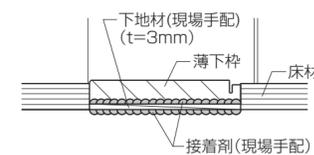


【薄下枠の場合】

●床材厚さ 12mm  
 ※必ず薄下枠に接着剤を付け、躯体に固定してください。

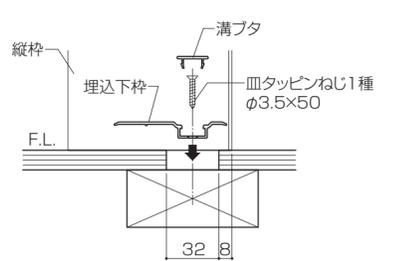


●床材厚さ 15mm  
 ※必ず薄下枠と下地材に接着剤を付け、躯体に固定してください。



【埋込下枠の場合】

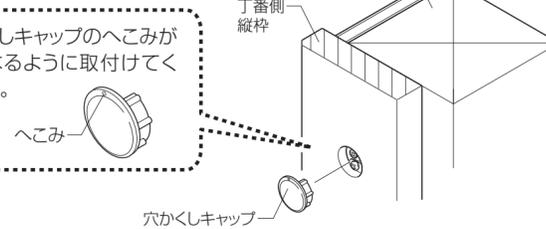
●埋込下枠を縦枠下部ピースにはめ込み、縦枠室内側端部から3mmの位置にねじ止めし、溝プタをはめ込みます。



■穴かくしキャップの取付け

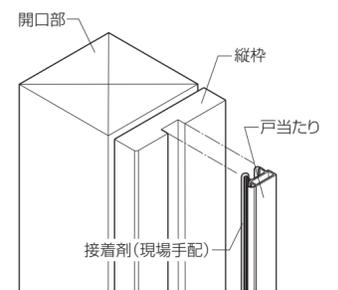
●枠固定金具調整穴に穴かくしキャップを差込みます。

※穴かくしキャップのへこみが上になるように取付けてください。



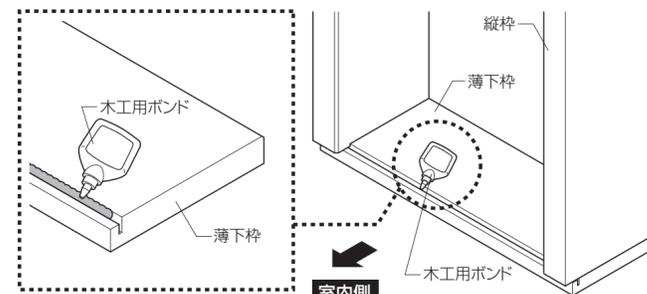
■戸当りの取付け

●戸当りに接着剤(現場手配)を付けて溝をふさぎます。  
 ※戸当りが長い場合は、無理に入れずに必要量を切詰めてください。  
 ※戸当りの接着は、必ず枠の建付け完了後に行うようにしてください。



■つば材の取付け(つば付き薄下枠を使用する場合のみ)

- ①現場でつば材の寸法を開口に合わせて切断してください。
- ②薄下枠の溝に木工用ボンド(現場手配)をつけてください。



③つば材を溝に手ではめこんでください。

お願い  
 ※ハンマーなどで強くたたき込まないでください。

